



# 晴れやかに20歳



お盆恒例の成人式が、交流センターを会場として行われました。対象者は昭和46年4月2日から昭和47年4月1日までに生まれた方。ふるさとで成人式を — の帰省組を含め、83名が参加。背広やワンピースといった正装や夏らしい軽装など、思い思いの服装をした新成人は、久しぶりにあった友人と楽しそうに話を弾ませていました。

将来は英語の先生か、英語を生かせる仕事に。今までなかった権利と義務、しっかり果たしていきたい。



佐藤高弘さん

二十歳になると気持ちの中に責任感が生まれてくるのでしょうか。何か気が引き締まった感じがします。気が引き締まると同時に人間も大きくなっていくと

よいのですが……。成人としてより良く生きていくために、勉強していかなくてはならないことをしっかりと身につけ、社会の一員として責任ある行動をとりたいと思います。私は一八歳のときに英語を知る機会があり、大学で英語を学んでいます。音学から文法、コミュニケーションまで細かい分野まで二十歳になると、今までなかった権利と義務が生じてきます。それらの権利と義務を、しっかりと自分自身で考えて有効に利用し、また、しっかりと果たしていきたいと思っています。

歳を重ねるにつれ重さと幅がでてくる責任。りっぱな成人になれるようがんばりたい。



榊沢 剛さん

十五、十六歳のときは、二十歳というとすぐ大人に感じていたものです。でも、実際に今自分が二十歳になってみると、まだまだ子供に感じられるのです。

十八、十九のときと自分の中では、なにも変わっていないのに、二十歳になって変わったことがあります。選挙権が与えられたことや、地方税を納めるようになったことです。選挙権については、先のことと考えていただけに、自分が投票できるのは驚きです。先月の参議院選挙に投票しましたが、その時、自分が参加できることがうれしく思いました。でも今思うことは、その喜びと共に、責任も持たなければいけないということです。歳を重ねるにつれて、その責任に重さと幅がでてくることと思いますが、りっぱな成人になれるようがんばっていききたいと思っています。

### 何事に対しても「積極的」に！ 大学生活で成人としての心構えを 培い、実社会に羽ばたきたい。



中山美智子さん

私が物心ついたときから課題としてきたのは「積極性」です。何事に対しても受け身にならずに挑戦していきたいと思っています。

の意見を聞いてもらうことも大事なことです。だから、私は人との触れ合いを大事にしていきたいと思うのです。大学生活で成人としての心構えを培い、真正正銘の成人として、実社会に羽ばたいていくことを目標に頑張っていきたいと思っています。



懐かしの再会に話がはずむ新成人

### 同じ歳の友人、先輩、後輩が たくさんできたのがうれしい。 うまく付き合っていければ…。



稲持順子さん

大学生となり、アパートでの一人暮らしも三年目となりました。学生は長期の

休みがあって楽しいという人もいるでしょうが、学生もそれなりに大変なのだと思います。特にテスト前になると大変で、「なぜ大学に来たんだろう」と思ってしまうんです。でも、私の大学は卒業してから国家試験があり、就職先が決まっても遊ぶわけにはいかないのです。

まず学生としての学業に最も力をいれて努力したいです。大学の学習は問題意識を持ちながら考察し、自ら学ぶ姿勢をやることによって身につくものですから、積極的な行動を心に留めておきたいです。また、人との出会いを大切に、交際範囲を広げていきたいと考えています。多様な考えに触れることや、様々な経験をすることは、自分にとって刺激となり、プラスにもなることだと思います。さらに、自分



奥田 順さん

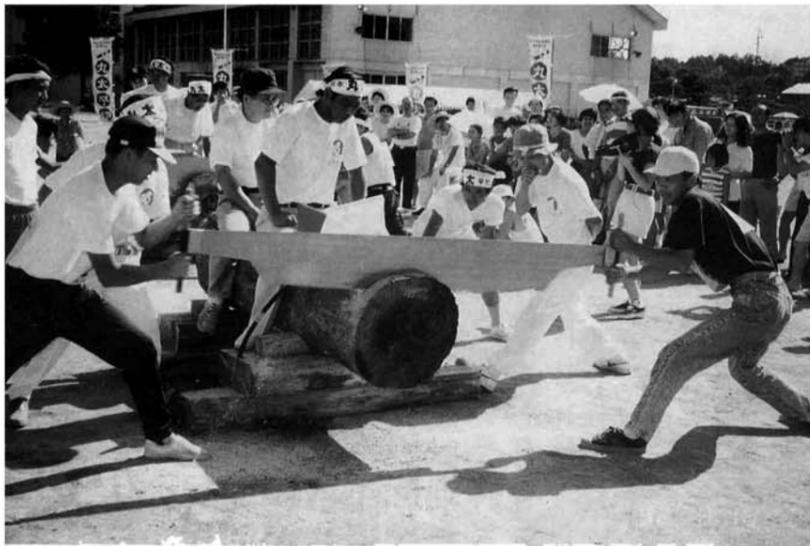
### 「心のやすらぎ」があるから、この町に帰ってきたい。 いつまでも「緑の美しい静かな三島町」であってほしい。

成人を迎え、自分の中にある種の責任感が芽生えてきたことを少なからず感じている今日このごろ。今私は学生の身分で、友だちにも恵まれ、結構充実した日

々を送っています。二年後には卒業し、就職を迎えますが、その時は、迷わず地元に戻りたいと思います。首都圏には条件のよい仕事がありますが、よい仕事をするには「心のやすらぎ」が必要不可欠であると思います。私はこの町に帰ってきたいと思っています。自分にあった仕事が見

つかり、この町で暮らせたらと願っています。この町も少しずつ、確実に変わってきています。充実した生活環境に変化していくのは、大変喜ばしいことであると思います。しかし、発展、開発だけでなく、いつまでも「緑の美しい静かな三島町」であってほしいと思っています。

勉強は大変ですが、大学に来てよかったと思うことも沢山あり、中でもサークルを通じて仲のよい先輩、後輩がたくさんできたことが最近うれしく感じます。多くのことを聞いてもらったり、教えてもらったり、就職してからいっしょに遊びに行ってもらったりしてとても感謝しています。同じ歳の友だちももちろん大切にしていきたいと思いますが、先輩たちや後輩たちともうまく付き合っていきたいと思っています。



決勝戦では直径70センチメートルの固いカシの木を切りました。



外国の方の参加もあり、全日本どころか国際丸太選手権大会となりました。



気合いの入っている小学生の女の子



まつり委員長賞は七日市



ちびっ子から大人まで  
そろいのハッピがよく似合う



来年もまた  
でようね!



盆おどりと大花火  
夏まつりの風物詩



夜空を彩る花火に酔いしれて

# 夏祭り 三島まつり

「子供屋台」  
ワッショイ、ワッショイ

アイデアあふれる十五基の屋台が繰り出されました。

それぞれがオリジナルのハッピに身を包み、元気いっぱいにとおる子供たちに、沿道からの声援が飛び交っていました。

## 盆踊り大会

文化協会の皆さんを中心に、まつり広場で輪になって踊りました。曲目はもちろん「三島音頭」。飛び入り参加もありました。

## 花火大会

ドンドンドンドン!

まつりの華は「花火大会」。町内外の多くの皆さんからご寄付をいただき、打ち上げ・スターマインなど百九十発余。豪華な光と音の競演が繰り広げられ、最後は、町民の心をひとつに集めた大スターマインで締めくくられました。

そのほか、外国人の参加もあった「丸太早切選手権大会」。いかに早く流し込むかを競った「わんこそラーメン早食大会」。各広場イベントなどなど。今年も汗と熱気につつまれた「三島まつり」となりました。

町民各位、各種団体のご協力、本当にありがとうございました。

# 公民館図書室開設 体育館体育場開放のご案内

## みてびっくりのイベント きてびっくりのイベント

### 公民館図書室開設 体育館体育場開放

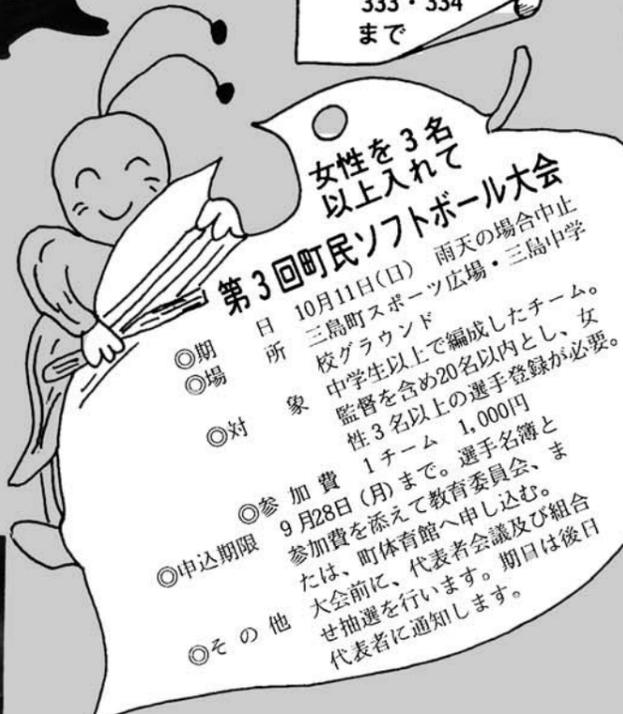
— 毎日第2土曜日午前中 —

「学校5日制」が導入され、この9月から毎月第2土曜日、小中学校は休みとなりました。子供たちに増えた自由時間を有意義に過ごしてもらうため、この時間帯に合わせ、体育館2階中会議室を公民館図書室として、また体育場を一般開放します。

お友だち同士、親子で、あるいは家族で、大いに利用ください。

□ 開放時間 毎月第2土曜日  
午前8時30分～12時

※公民館図書書の貸し出しについては、従来と変わりません。



●問い合わせは  
町教育委員会  
☎42-2221 内線  
333・334  
まで

女性を3名以上入れて  
第3回町民ソフトボール大会  
日 10月11日(日) 雨天の場合中止  
所 三島町スポーツ広場・三島中学校グラウンド  
対象 中学生以上で編成したチーム。監督を含め20名以内とし、女性3名以上の選手登録が必要。  
参加費 1チーム 1,000円  
申込期限 9月28日(月)まで。選手名簿と参加費を添えて教育委員会、または、町体育館へ申し込む。大会前に、代表者会議及び組合せ抽選を行います。期日は後日代表者に通知します。  
その他



本も  
増えました。

### 平成4年度 三島町芸術美術祭

◇期 日 10月10日(土)～11日(日)  
芸術祭 10月11日(日)  
午後1時30分より発表会  
美術祭 10月10日(土)～11日(日)  
まで作品展示  
作品搬入 10月9日(金)  
午後3時より  
作品搬出 10月11日(日)  
午後4時より  
場 三島町体育館  
催 三島町文化協会  
後 三島町教育委員会

あなたの作品  
お待ちしております



11月3日(火) 沿道の声援に  
第21回町民駅伝大会

### 10月10日 町を歩こう 第6回 三島町 町民ウォークラリー

◎期 日 ☆10月10日(体育の日)  
小雨決行です。(午前中に終了)  
◎場 所 ☆町体育館前に8時30分までに集合。  
◎対 象 ☆小学生～一般  
◎参加費 ☆1人当たり100円です。(当日受付をお願いします。)  
◎申込方法 ☆1チーム3人以上5人以内とします。ただし、小学3年生以下の場合は、チーム内に必ず20歳以上の大人の人が入っていることとします。  
☆9月30日(水)までに町教育委員会へ申し込んでください。電話での申込も受け付けます

※当日は運動のできる服装で参加ください。

## 三中生徒会から 善意の車椅子



中学校生徒会から、町に車椅子一台の寄贈がありました。このほどその売却益で車椅子一台を購入し、町の福祉に役立てばと寄付したものです。(二台は「みしま園」に寄贈)

現在、中学校新体育館の建設工事が進められていますが、中学校三年生徒は、それに伴う旧体育館の解体に先立ち、長年親しんだ体育館の記念に、また、リサイクル活動の一環として、アルミ製窓枠の一斉回収作業を行いました。

町では、三中生徒会から贈られた「善意の車椅子」を、社会福祉協議会が窓口となっている一般貸出用車椅子として利用することになりました。

## 高原交差点に待望の信号機



鳥越高原地内、与板関原線と区画道路の交差点に、信号機が設置されました。この交差点は、優先道路(与板関原線)の幅員が区画道路の幅員よりも狭いため、優先関係を間違えやすいこと。また、視界も悪いことから、過去数回にわたり交通事故が発生し、地元住民や町議会から、信号機設置の強い要望がありました。

## 秋の全国交通安全運動

9月21日(月)～9月30日(水)

- 重点●  
☆高齢者の交通事故防止  
☆シートベルトの着用の徹底  
☆違法駐車の手出し



シートベルトなしで両手、両足を支えられるのは時速7キコダ見ます。

## 心の窓

を終えて  
まに  
子小池一弘  
間、気の向くま  
校区内の町内巡  
りをしてみた。

ある程度予測していたとは言え、子供たちの遊んでいる姿をほとんど見かけることができなかった。各町内には、狭いながらも広場や公園が整備され、数少ないとは言っても遊具等も設置されているにもかかわらず、一人も遊んでいないのである。

子供たちは、遊ぶというのを忘れてしまったのではないかと心配になってしまったり、子供の遊ぶ姿が見られなかった。

日中の暑い陽盛りの時間帯でもあるかと思いい、時間をあえてみた。結果はほぼ同じようなものであった。

子供は本来、遊びの天才であり、遊びの中で育つものである。と考えていたところが現在の子供たちには通用しなくなってきたのだらうか。と自問してみた。遊びは、冒険心を満たし、少しくらい危険があったり、ちょっと無理かな、と思われたりする遊びほど面白い。

今日は失敗したけれども明日になればできるかも知れない。

子供は単なるお客様として参加しているところが気になるのである。子供はもったくましくしたたかな力を持っている。子供の持つ独創性や可能性を發揮する場である遊びや諸活動をもっと子供のために考えてみる必要性を感じさせられた夏休みとなった。

また、町内子供会行事にしても子供の活躍の場が奪われ、地区役員さんの行事になっていくことがある。へ乱暴な言い方で申し訳ありません。

子供は行動を起こす前に「あれはいけない」「こっちはいけない」等々良く言えば「転ばぬ先の杖」と言うことになるのである。子供自身で考えた、選択した行動を奪ってしまっているのではないのか。その結果として、受け身の子供にしてしまっているのではないのか。

ところが、今の子供たちはどうだろうか。子供が行動を起こす前に「あれはいけない」「こっちはいけない」等々良く言えば「転ばぬ先の杖」と言うことになるのである。子供自身で考えた、選択した行動を奪ってしまっているのではないのか。

